

## 大河原町まち・ひと・しごと創生会議「第1回会議」 会議録

日時：5月30日（土）10時00分～12時15分

場所：大河原町役場3階 大会議室

### 1. 開会（進行：企画財政課長）

### 2. 委嘱状交付

### 3. 開会のあいさつ（大河原町副町長）

みなさんおはようございます。本日は、土曜日というリフレッシュする時間であり、新型コロナウイルスの不安もある中会議にご出席いただきありがとうございます。本来であれば町長がご挨拶を申し上げるところであります。公務が重なっておりますことから私が対応させていただきます。ただいま委嘱状を交付しましたが、お引き受けいただき感謝申し上げます。任期は2年であり、町長の諮問に基づき会議は開催しますが、特に何もなければ年に1回となるかもしれませんが、今後いろいろの形でお声がけしますのでよろしくお願いいたします。新型コロナウイルスは我々の生活に非常に大きな影響を与えており、商業や経済団体のみならず大きな打撃を受けていると思います。5月26日に緊急事態宣言が解除され、安倍首相も収束と話されておりましたが、まだまだそのような状況ではない部分もあると思います。今後もまだまだ不安な時期が続くと思いますが、まちとして、行政の使命として、町民のみなさんと一緒にまちづくりをしていかなければならないところであります。本町は令和元年度に第6次長期総合計画をスタートし様々な取組を行っているところであり、まちづくりのコンセプトの中に、「生命と安全を守る」「まちを未来へとつなぐ」といった戦略があります。この2つの戦略をさらに強め、実現に向けて強化するためにも、この後ご報告いたしますが第2期まち・ひと・しごと総合戦略を策定しました。国は平成26年に出生率低下に伴う人口減少や東京一極集中の是正といった中で「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、それに伴い本町は平成27年に第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。本日は簡単な説明になるかもしれませんが、これまで策定した内容について説明いたします。最後に白石川右岸河川敷等整備についてお話いたしますが、まだまだ構想の段階ではありますがまちのブランド化、魅力発信に向けた新たな取組ですのでよろしくお願いいたします。

### 4. 委員並びに事務局紹介

### 5. 議事

#### （1）会長並びに副会長の選任

事務局案 → 承認

会 長 櫻井俊寛委員

副会長 佐藤克美委員

～会長あいさつ～

ただいま会長に承認いただきました、大河原町商工会会長の櫻井俊寛と申します。本日はよろしくお願いします。ただいま藤田副町長からお話がありましたが、本日の会議は大河原町にとって大事な会議でありますので忌憚ない意見をよろしくお願いいたします。

(2) 議事「第1期大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略のまとめ」について

→資料を基に企画財政課長より説明

【資料】大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策、交付金事業の効果検証まとめ

<質疑応答>

発 言	内 容
櫻井俊寛会長	質疑のある方は挙手をお願いします。
晋山孝善委員	廃止や検討という点については、この後に方向性等の話があるのでしょうか？
企画財政課長	内容は第2期に網羅されていますが、廃止を検討しているものについては廃止となる方向です。
晋山孝善委員	前提条件がかなり変わっていますので、移住定住等について話ができればと思っています。移動が制限されていることからテレワークが進んでいますので、都市部に住まなくても仕事ができるので、都市部から人を呼び戻す可能性があると思います。ネットワークの整備といった、仕事ができる環境を整備することで移住定住のところを強化して人口減を止められると思っています。移住定住や仕事創生といった一部については、コロナ前後で完全に変わるので、住環境の良い大河原を前面に出して、都市部では実現できない庭付きの家で暮らしてみませんかといった情報発信をするなど検討をしても良いのではないのでしょうか。
企画財政課長	本日まで説明いたしますのは第1版であり、この会議でいただいたご意見の検討を行い、第2版に反映させていくことも考えておりますのでご意見よろしくお願いします。
櫻井俊寛会長	検討よろしくお願いいたします。 その他ご意見等ないので承認されました。

(3) 議事「第1期大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略のまとめ」について

→資料を基に企画財政課長より説明

【資料】第2期大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略

<質疑応答>

発 言	内 容
櫻井俊寛会長	質疑のある方は挙手をお願いします。
晋山孝善委員	<p>コロナ前後で生活スタイルが変化していますが、国も変えるように話しています。観光やインバウンドは2～3年難しいでしょう。文科省は遠隔授業、企業はテレワークを進めています。テレワークは10年以上前から進めていましたが、コロナの影響で急激に環境が変化しています。大きな計画は3～4年後ということで良いかと思いますが、直近の2年くらいはこれよりも力を入れたほうが良いことがあると思います。例えばネットワークのインフラ整備であります。昨年の台風被害でもですが、一級河川については国交省でセンサーを入れて増水を把握していますが、丸森町や柴田町では用水等があふれて被害が出たので、常時設置ではなく、台風の経路を把握しその時だけセンサー整備をすれば、大きな費用負担もなく危険を伴う巡回も不要で減災につながれると思います。観光やインバウンドで考えていたお金を可能であればそちらに活用しても良いかと思います。まちのPRは従来型のアピールで効果が出ていなかったの、YouTubeで町公式チャンネルを立ち上げるか、それが難しいのであれば、民間が立ち上げたチャンネルを公認する施策を行うのも良いと思います。このままだとかなりの会社がつぶれ失業者が増え大変な状況になると思いますが、その中でお金を出せるのは役場であると思います。その役場のお金を地域内で循環させて、事業者を育て地域を自立させていくことが重要だと思います。できることがたくさんあるので、よその地域にお金を流すのはもったいない。教育については、先日与那国島へ行きましたが、学力向上させるために島のお金でリモート塾を導入したことで全国平均を超えました。文科省のGIGAスクールは、全員に端末を配付するとあるが、義務教育であるためお金に余裕がない家庭における環境整備はどうするかという課題がありますが、分校とかに環境を整備することで対応できるのではないかと思います。ひきこもりについてもリモート授業にしたら出席するようになったというレポートもありますし、今までできなかったことがコロナを機にできるようになっています。町として積極的に財政出動をお願いしたいし、テレワークが進むことで移住定住</p>

	につながると思うので短期的な計画も考えていただきたいです。
藤田副町長	移住定住については、町でパンフレットを作り、東京にある移住定住を支援する施設に置いております。暮らしやすさがぎゅぎゅっとつまったコンパクトなまち、行きたいところにささっといける便利なまちでありますので、もっとPRしてテレワークにつながればと改めて感じました。GIGA スクール構想については、国の補助をいただき学校にWi-Fi等の環境を整備するように動いております。教員にはタブレットを配付済みであり、今後は全生徒に配付し、その後はお家で学習できるようにつながれば良いと思います。
安藤俊和委員	桜が老木になり更新するにも課題があるようですが、新しく植える場所の候補はあるのでしょうか？また、昨年の水害で思ったのですが、大河原町は荒川と白石川に挟まれており、流れないときの強制排水等について検討いただきたいです。白石川右岸の活用について重点的に行うとのことですが、可能であれば左岸についても活用検討いただきたいです。
藤田副町長	桜についてですが、老木ではありますが毎年剪定等を行って管理しています。同じ場所に植えることは国から認められないので、新たに右岸の堤防に土を盛って桜を植えたことはありますが、そのようにしないと植える場所はなかなかないのが現状であります。後程、白石川河川敷整備の話がありますが、ある程度のエリアを確保し桜を植えることができないか考えております。大雨における強制排水については地域整備課長より詳細説明いたします。左岸についてですが、まずは宮城県とのコラボ事業ということで右岸を先に進めておりますので、左岸についてはその後ということになります。
地域整備課長	大河原町では上下水道課で雨水計画を策定しており、計画で冠水地区の排水対応についてお示ししていますが、とても費用がかかります。鷺沼排水の奥に柴田町の方で大きな貯水できる設備を作っています。完成すれば次の場所を町で選定し実施となりますが、計画が進むまでは緊急的に排水ポンプを設置し対応することとなります。抜本的な解決にはなりません、応急的な対応としてポンプを設置させていただきます。大雨で荒川がいっぱいになると強制排水を国から止められるので、許可が出るのか今後進めていきたいと思います。南原町地区、東桜町地区、高砂地区が町の中でも低いところになりますので優先的に対応していきたいと思います。
本木仁委員	14 ページにふるさと寄付金額の目標が1億円とありますが、これに対する見通しはあるのでしょうか？

企画財政課長	ふるさと納税について、以前はアイリスオーヤマさんの電化製品も含めておりましたが、総務省よりその地域で製造されたものという限定もあり、ヒルズさん、菓匠三全さん、地域の特産品を返礼品としております。今後、企業版ふるさと納税、返礼品の開拓を行いながら、目標値に向けて努めてまいりたいと考えているところでございます。
金田貴幸委員	七十七銀行では、大河原町と連携協定を締結し、様々な施策を実現していくために必要な民間の力を活用するための情報提供等を行っております。金融機関には各企業様の情報もあり、昨年度初めてマッチングの場を提供し情報共有しました。引き続き金融機関としても情報提供をしていきますので、何かあればよろしく願いいたします。また、郵便局も配達等で地域のみなさんの暮らしを守るようご尽力いただいております、施策実現の一員であると思います。
竹川貴子委員	普段は大河原小学校で支援員として働いておりますが、コロナにより3月に急遽児童センターへ派遣され、学童保育のお手伝いをさせていただいております。結構な数の児童が来ており、教室や遊具の消毒と換気を徹底しています。幸い感染者は出ませんでしたが、来週から学校が始まる場所で不安があります。大河原小学校は大規模校であるため、1m以上間隔をあけるのが難しく、密を避けられないと思います。まちのブランド化として教育もありますが、大河原小学校はほぼ県内トップの成績であります、中1ギャップもあり大河原中学校は追いつけていない。晋山委員が話しておりましたが、この計画はコロナ前に話し合ったものである、学校現場にリモートやオンラインをどう活用するのか、ここ2～3年は思った通りには進まない勝負でもあるので、インターネット環境の整備や子どもたちのケアが大事であると思います。2～3か月会わなかった子どもたちをみて、目つきが変わった、顔つきが変わった、態度が変わった子どもたちもいますので、計画とは離れますが、現在の状況も入れていただければと思います。
晋山孝善委員	補足的な情報であります、小学校の話がありましたが、マンモス校となると教室を分け教員を増やすという対応があると思いますが、大河原町ではそれは難しいので机にL字型の透明シールドを設置すれば密にならない環境を作れると思いますので、工夫やアイデアを出していけば良いと思います。
櫻井俊寛会長	参考にしていただければと思います。
狩野裕一委員	コロナの話題が出ましたのでお話いたしますが、経済関係について、休業協力金は県と市町村で対応しており、国では雇用関係、金融支援を行っています。引き続き状況の変化に合わせて対応してまいります。

	<p>ご説明いただきました中長期的な計画について、7ページの基本目標が3点記載されておりますが、宮城県でも令和3年度からスタートする10年間の長期総合計画を策定しているところであり、みやぎ将来ビジョンというものですが、地方創生総合戦略の観点も含めて統合された計画であり、現在は中間案まで作っている段階であります。政策推進に向けた横断的な視点ということで、ひとづくり、地域づくり、イノベーションという3つを掲げており、先進的技術の活用などで、産業の創出、地域課題の解決につなげるものであります。本計画では、町全体のブランド化という点が特徴的な計画であると思います。ブランド化を進めて、まちの目指すべき姿を形にするのは、外部へのPRもですが、住んでいる方にとっても充実感、満足感、守り続けていく自負心にもつながるのではないかと思いますし、それがまちとしての自立、地域の中で取組んで行こうとなるのではと思います。私の部署である地方振興部では商工業や観光の振興に取組んでいますが、特産品についてはみやぎ蔵王36景ブランド創造会議があり、みやぎ蔵王が景観として見える地域でブランド化を図っていくものがあります。その中で地域の逸品という取組があり、地元の材料を使った産品を地域の逸品と認定し紹介おすすめするというものであります。産品そのものの魅力に加えて、一目千本桜のようによく知っているブランドと結びつくと大変強いので、特産品ができれば上手く連携をしていければと思っています。目標値は3件とありますが、現時点での見込みやどのように進めていくかご紹介ください。</p>
企画財政課長	<p>新しい特産品については商工観光課や観光物産協会で町民を巻き込んだ講習会や研修会等を行っており、そちらで新たな特産品について考えているほか、新しいことに限らず現在ある特産品を活用しての新たな特産品開発を考えております。具体的にはまだないところであります。</p>
藤田副町長	<p>農政課が担当であります。毎年食の開発を行っており、今年のはたまねぎをテーマに活動されています。地場産品を使って新しい製品ができればという準備段階であり、それが将来かたちになればと思います。</p>
永沢恵美子委員	<p>仙台から大河原に転居し2年程ありますが、町を知ることと、声を活かせる会があると聞き応募させていただきました。いただいたご説明やみなさんのご質問を聞き、疑問がなくなり私が考えていたことが全て計画に含まれていることが分かりました。地域の役に立ちたい人などお手伝いして欲しい人とのマッチングするような場があれば良いと思います。遠方に住む家族にふるさと納税の返礼品を送ってあげた</p>

	いと思っても、品目にいまいち心が躍らないです。大河原町として情報発信を行っていただきたいです。
藤田副町長	ふるさと納税や寄付金については、返礼品もありますが、返礼品に頼ることなく大河原町を応援したいと感じるようなPRをしていきたいと思います。寄付金額の目標値はハードルが高いと思いますが、わざと目標を高くしそれに向けて努力しようという意味もあります。
押野知子委員	返礼品は体験するものも良いと思います。
藤田副町長	川崎町は一日町長というものもあります。返礼品に頼らないことも考えていきたいと思います。
押野知子委員	小学校でフェイスシールドを作ったというところもあります。
櫻井俊寛会長	貴重なご意見ありがとうございました。みなさんからのご指摘ご要望を踏まえながら、第2期大河原町まちひとしごと創生総合戦略を発展させていくということでよろしく願いいたします。

#### (4) その他

→なし

#### 6. その他

「白石川右岸河川敷等整備事業基本計画（案）」について 【地域整備課】

→資料を基に地域整備課長及び地域整備課課長補佐より説明

【資料】白石川右岸河川敷等整備事業基本計画（案）について

#### 7. 閉会